

日時:平成21年5月30日(土)14:00~17:00

場所:佐土原町総合文化センター 1階研修室

# 第2回宮崎海岸市民談義所

## 資料 目次

- 1 本日の流れ
- 2 談義所の役割、談義のルール等
- 3 これまでに頂いた意見の整理・回答等
- 4 本日の議題
  - (1) 委員会・技術分科会での検討状況と本日の談義内容
  - (2) 市民が考える、対策の条件・配慮すべき事項~ワークショップ~

# 本日の流れ

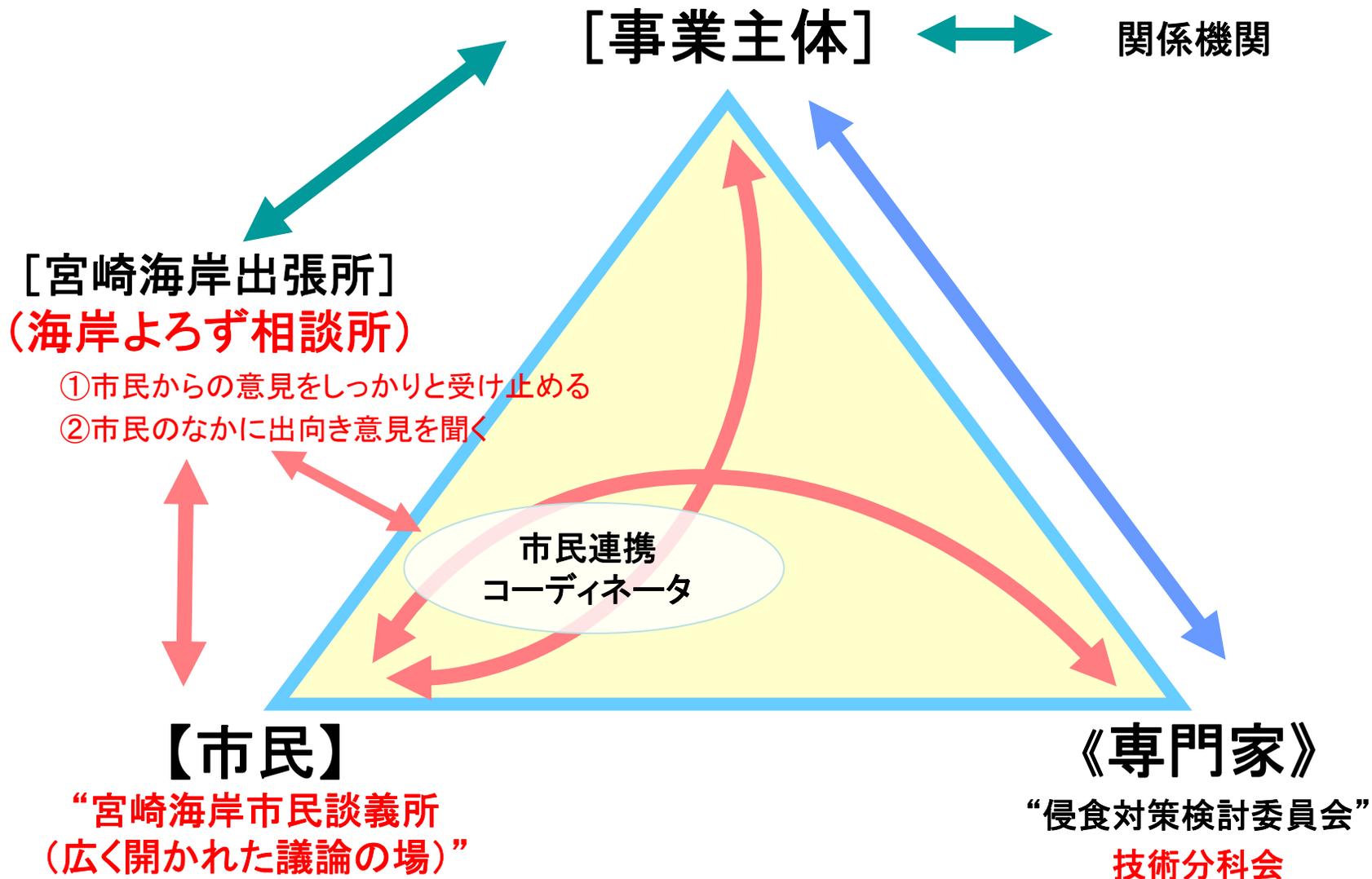
# 本日の流れ

- 1 本日の流れ
- 2 談義所の役割、談義のルール等
- 3 これまでに頂いた意見の整理・回答等
- 4 本日の議題
  - (1) 委員会・技術分科会での検討状況と本日の談義内容
  - (2) 市民が考える、対策の条件・配慮すべき事項  
～ワークショップ～
- 5 今後の進め方  
次回談義所について 等

# 談義所の役割等

# 宮崎海岸トライアングル

行政・市民・専門家、三者一体となって考える



# それぞれの役割と責任

## 事業主体

市民からの多様な意見を反映した案(複数)を専門家に提示し、検討を依頼する。また、専門家からの助言をもとに、**責任ある意思決定**をする。

## 専門家

事業主体からの案に対して、事業主体に**技術的・専門的な立場**から助言する。

## 市民

お互いを理解・尊重しながら**多様な意見**を出し合い議論を深める。

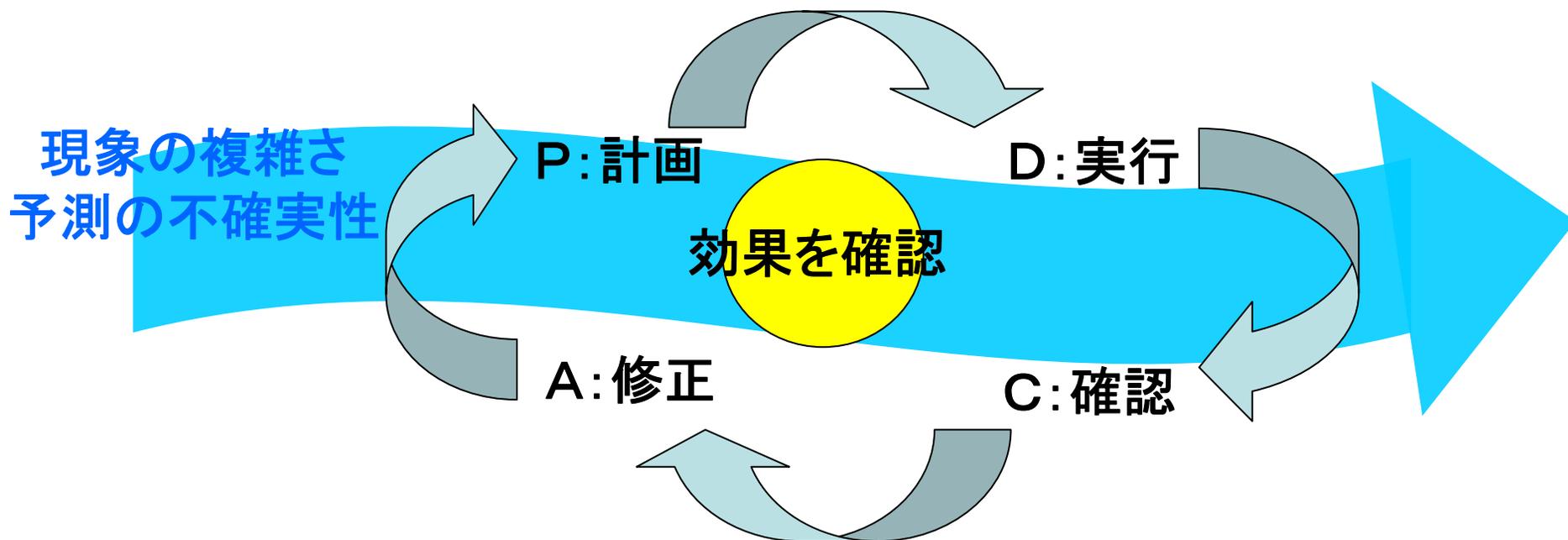
## コーディネータ

市民からの多様な意見を取りまとめ、事業主体に伝える。また、事業主体が専門家に正確に伝えているか、専門家がきちんと検討しているか**中立・公正な立場**からチェックする。

# 宮崎海岸ステップアップサイクル

自然現象の複雑さと社会環境・自然環境の変化に対する未来予測の不確実性を踏まえ、

どのような方法をとればよいかを検討・実施し、その方法の効果を確認しながら、修正・改善を加えて、対策を着実に進めていきます。



# 「宮崎海岸市民談義所」の役割と機能

## 【目的】

お互いを理解・尊重しながら多様な意見を出し合い議論を深める。

## 【役割と機能】

- ①多様な意見をお互いに認識し、知識・情報を共有する
- ②市民と行政のコミュニケーションを充実する
- ③市民がお互いに納得できる、手段を含めた方向性を見いだす

# 談義のルール

# 多摩川ルール

多摩川流域では、平成4年に開催された三多摩東京編入100周年記念イベント【TAMAらいふ21】のとき、「湧水・崖線研究会」が開催され、多くの市民や行政が集った。このときの会議で、「3つの原則、7つのルール」が誕生した。

## 『3つの原則』

- ①自由な発言、②徹底した議論、③合意の形成

## 『7つのルール』

- ①参加者の見解は所属団体の公式見解としない
- ②特定個人・団体のつるし上げは行わない
- ③議論はフェアプレイの精神で行う
- ④議論を進めるにあたっては実証的なデータを尊重する
- ⑤問題の所在を明確にした上で合意を目指す
- ⑥現在係争中の問題は客観的な立場で事例として扱う
- ⑦プログラムづくりにあたっては長期的に取り扱うものと短期的に取り組むものを区別し実現可能な提言を目指す

# 談義の留意事項

- 「〇〇(お住まい、所属)の〇〇(氏名)」を名のって発言する
- 発言時間2分/回(多くの意見をいただくための目安)
- 勉強会ルールを尊重

# 勉強会のルール等について

## ○ルール

- ・誰かを悪者にするということはしない(前向き議論をするため)。
- ・糾弾というやり方はしない。
- ・参加者が自主的に企画する小さな勉強会等の情報を告知(チラシの配布など)は構わない(意見が異なるためこの場で配布してならないということはない)。

## ○司会者の役割

発言者(説明者や質問者)が誰かによらず、分かりやすくするために、説明が足りない等の要求や積極的に質問する事はある。しかし、いろんな事を解説することはしない。

# これまでに頂いた意見への 回答・整理等

# これまでに頂いた主な意見、回答(その1)

## I 合意形成のプロセスについて

### (主な意見)

- ・議論のプロセスや話し合いの方向性を分かり易く公開して欲しい
- ・質問に対して回答して欲しい
- ・状況の変化があったら、住民に意見を聞いて欲しい
- ・長い時間をかけて議論して欲しい

### (回答)

- ・市民と行政のコミュニケーションを充実する事も目的とした宮崎海岸市民談義所を設置しました。
- ・委員会等の情報は随時、談義所等で情報提供を行います。
- ・談義所の進め方についても、皆さんとも相談しながら進めるので、ご意見がある場合は談義所で頂戴します。
- ・わかりやすい情報提供に努めます。

# これまでに頂いた主な意見、回答(その2)

## Ⅱ 侵食の原因について

### (主な意見)

- ・ダム、港湾、保安林などの施設の整備が侵食の原因
- ・地球温暖化、風などの自然現象の変化、地盤沈下が侵食の原因
- ・原因は複雑で1つではない

### (回答)

- ・ダムでの堆砂や河川改修、少し前まで行われていた川砂利採取等により砂の供給量が減っていることや、宮崎港の整備など様々な要因によるものと考えています。
- ・引き続き、宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会、宮崎県中部流砂系委員会やその他の専門家とも相談しつつ、調査を進めます。

# これまでに頂いた主な意見、回答(その3)

## Ⅲ 調査について

### (主な意見)

- ・生態系に関する調査が不足している
- ・波浪観測は何力所もした方が良い
- ・海の流れと土砂移動がどうなっているのか知りたい
- ・海底地形データの精度が不十分
- ・長期にわたる調査が必要
- ・高度なセンサーを利用した調査を期待している
- ・過去の状況や先人の知恵を示す資料を収集したり、参考にすべき

### (回答)

- ・現在、地形(深淺測量等)、海象(波向、波高等)、環境(生物、植物等)などの観測を行い、また、情報を収集しています。
- ・引き続き、専門家とも相談し、必要な調査を進めます。
- ・調査結果については、委員会や談義所等において情報提供します。

# これまでに頂いた主な意見、回答(その4)

## IV 侵食対策の考え方について

### (主な意見)

- ・人命を守る観点から対策を早急に実施して欲しい
- ・環境(ウミガメ、海鳥、松林等)・景観へ配慮して欲しい
- ・利用(観光、漁業、サーフィン等)へ配慮して欲しい
- ・防護と自然環境に優先順位をつけるのは難しい
- ・出来るだけ自然の状態を残して欲しい
- ・持続可能な対策をして欲しい

### (回答)

- ・様々な観点から重要な意見を頂いていると考えています。
- ・これらの意見を出来る限り反映する具体的な対策を、「宮崎海岸トライアングル」と「宮崎海岸ステップアップサイクル」の2つの柱で検討していきます。

# これまでに頂いた主な意見、回答(その5)

## V 具体的な対策について

### (主な意見)

- ・構造物を入れないで対策をして欲しい
- ・ダム、港湾、有料道路などの撤去は出来ないか
- ・漂砂と構造物による試験施工を実施してはどうか
- ・既存工法による対策をして欲しい
- ・ダム、港は必要
- ・コンクリートを使わない対策をして欲しい(木材、サンドバック等)
- ・海外等の事例も見つつ検討した方が良い

### (回答)

- ・様々な観点から重要な意見を頂いていると考えています。
- ・具体的な対策については、談義所でこれらの意見を掘り下げつつ、宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会で議論していきます。

# 本日の議題

# 委員会・技術分科会での 検討状況と本日の談義内容

## これまでの委員会での議論

### □ 侵食対策は必要

- 現状でも侵食は進んでいる事から、何らかの対策は必要。

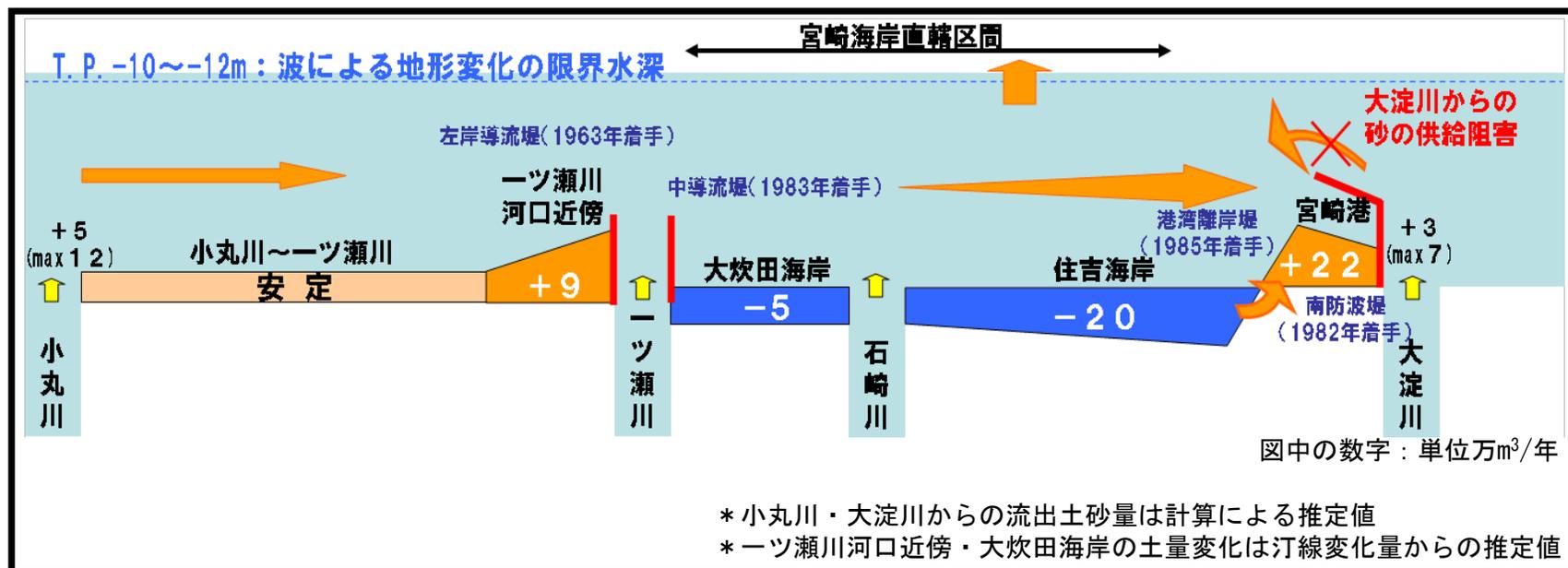
### □ どのような侵食対策を採用するにしても養浜は必要不可欠であるため、当面は試験養浜主体でモニタリング調査を並行して実施。

- モニタリングでは、主に養浜の材料、投入場所、施工方法等の違いが、地形変化、環境、利用に与える効果・影響を調査。

# これまでにわかってきた主な事項

- ・海浜土砂は概して南方向へ移動していること。
- ・石崎川以南の海浜土砂量の減少が著しいこと。
- ・土砂が港湾、一ツ瀬川左岸に堆積していること。

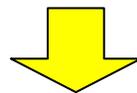
## ◎現在推定されている土砂収支図



※第5回宮崎海岸侵食対策検討委員会資料より抜粋

# 課題の整理と本日の談義内容

- 山地から海岸までの広域の土砂移動メカニズムの解明  
及び、協力関係の構築  
→宮崎県中部流砂系検討委員会で中長期的検討事項として検討中
- 侵食対策予測精度向上のための地形変化モデルの構築  
→宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会で検討中
- 侵食予測精度向上のための調査、環境調査等  
→事務所で実施中(地形測量、魚・鳥・植物、底質、波浪)
- 具体的な侵食対策の手法についての議論  
→市民談義所、侵食対策検討委員会、同技術分科会で検討していく



## ■本日の談義内容

市民が考える、対策の条件・配慮すべき事項とその理由

# 委員会、技術分科会と談義所の関係

## □第2回談義所(本日)：

対策の条件・配慮すべき事項とその理由について市民が談義

## □第3回技術分科会：

談義所での市民意見を紹介、委員からコメントを聴取

## □第3回談義所：

第3回技術分科会での委員からのコメントを踏まえ、具体的な対策について市民が談義

## □第4回技術分科会：

談義所からの試験施工の方向性の提案、H21年度試験施工案の検討

## □第6回委員会：

談義所からの試験施工の方向性の提案、H21年度試験施工案の検討

# 今後のスケジュール(案)

5月

6月

7月

8月

9月以降

市民談義所

## □第2回【本日】

- ・これまでの意見の整理・回答等
- ・試験施工の方向性の提案に向けた意見の整理  
(対策の条件・配慮すべき事項等について談義)

## □第3回【7月中旬】

- ・試験施工の方向性の提案に向けた意見の整理（具体的な対策について談義）

## □第4回【8月】

- ・未定

技術分科会

## □第3回【7月10日】

- ・地形変化モデル提示
- ・地形変化モデルの妥当性の検証
- ・談義所での市民意見の紹介

## □第4回【8月】

- ・地形変化モデル提示
- ・談義所からの試験施工の方向性の提案
- ・H21試験施工案の検討

委員会

## □第6回【9月】

- ・地形変化モデル提示
- ・談義所からの試験施工の方向性の提案
- ・H21試験施工案の検討

市民等が考える、対策の条件・配慮すべき事項  
～ワークショップ～

# ワークショップの方法

## テーマ【対策の条件・配慮すべき事項とその理由】

**赤色の付箋紙：実施してほしくないこと(その理由)**

記入例：〇〇〇の部分には×××して欲しくない(△△△だから)

**青色の付箋紙：実施してほしいこと(その理由)**

記入例：〇〇〇の部分には×××して欲しい(△△△だから)

**黄色の付箋紙：海岸の現状(皆さんに知ってもらいたいこと)**

記入例：防災に関する情報(高波浪時の越波など)

環境に関する情報(動植物の情報など)

利用に関する情報(漁業、散歩、サーフィンなど)

記入した付箋紙を壁に貼っている地図の該当箇所(具体的な場所)に貼ります